【総括表】

用途	学校施設

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

<小学校>

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	童子山小学校	御幸町	大規模改修	
2	拳母小学校	平芝町	大規模改修	
3	根川小学校	下林町	大規模改修	
4	小清水小学校	田町	大規模改修	
5	前山小学校	前山町	大規模改修	
6	山之手小学校	山之手	大規模改修	
7	美山小学校	美山町	大規模改修	
8	寺部小学校	上野町	現状維持	
9	平井小学校	百々町	大規模改修	
10	野見小学校	野見町	現状維持	
11	古瀬間小学校	志賀町	大規模改修	
12	矢並小学校	矢並町	現状維持	
13	高嶺小学校	広美町	大規模改修	
14	寿恵野小学校	鴛鴨町	大規模改修	
15	畝部小学校	畝部西町	大規模改修	
16	堤小学校	堤本町	大規模改修	
17	若園小学校	中根町	大規模改修	
18	竹村小学校	住吉町	現状維持	
19	駒場小学校	駒場町	現状維持	
20	大林小学校	大林町	大規模改修	
21	大畑小学校	大畑町	大規模改修	
22	伊保小学校	保見町	現状維持	
23	加納小学校	加納町	大規模改修	
24	青木小学校	青木町	大規模改修	
25	西広瀬小学校	西広瀬町	現状維持	
26	東広瀬小学校	東広瀬町	現状維持	
27	中金小学校	中金町	現状維持	

28	上鷹見小学校	上高町	大規模改修	
29	幸海小学校	幸海町	大規模改修	
30	岩倉小学校	岩倉町	大規模改修	
31	九久平小学校	九久平町	大規模改修	
32	滝脇小学校	滝脇町	大規模修繕	
33	豊松小学校	坂上町	現状維持	
34	東山小学校	渋谷町	大規模改修	
35	元城小学校	八幡町	現状維持	
36	梅坪小学校	梅坪町	大規模改修	
37	朝日小学校	朝日町	大規模改修	
38	若林東小学校	若林東町	現状維持	
39	東保見小学校	保見ケ丘	大規模改修	
40	四郷小学校	四郷町	大規模改修	
41	浄水小学校	浄水町	大規模改修	
42	平和小学校	平和町	大規模改修	
43	市木小学校	市木町	大規模改修	
44	若林西小学校	若林西町	現状維持	
45	衣丘小学校	三軒町	大規模改修	
46	土橋小学校	土橋町	現状維持	
47	広川台小学校	渋谷町	大規模改修	
48	井上小学校	井上町	大規模改修	
49	五ケ丘小学校	五ケ丘	大規模改修	
50	西保見小学校	保見ケ丘	大規模改修	
51	五ケ丘東小学校	五ケ丘	大規模改修	
52	浄水北小学校	浄水町	現状維持	
53	飯野小学校	藤岡飯野町	大規模改修	
54	石畳小学校	石畳町	大規模修繕	
55	御作小学校	御作町	大規模改修	
56	中山小学校	西中山町	大規模改修	
57	道慈小学校	千洗町	大規模改修	
58	本城小学校	市場町	現状維持	
59	小原中部小学校	遊屋町	現状維持	
60	足助小学校	足助町	大規模改修	

61	冷田小学校	四ツ松町	大規模修繕	
62	追分小学校	近岡町	大規模修繕	
63	佐切小学校	上脇町	大規模修繕	
64	則定小学校	則定町	大規模修繕	
65	萩野小学校	桑田和町	大規模改修	
66	明和小学校	平沢町	大規模修繕	
67	新盛小学校	新盛町	大規模修繕	
68	大蔵小学校	大蔵町	大規模改修	
69	御蔵小学校	御蔵町	大規模修繕	
70	花山小学校	下山田代町	大規模改修	
71	大沼小学校	大沼町	現状維持	
72	巴ケ丘小学校	大桑町	大規模改修	
73	小渡小学校	下切町	大規模改修	
74	敷島小学校	杉本町	大規模改修	
75	稲武小学校	稲武町	大規模改修	

＜中学校＞

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	崇化館中学校	栄町	大規模改修	
2	朝日丘中学校	朝日ケ丘	大規模改修	
3	豊南中学校	水源町	大規模改修	
4	高橋中学校	高橋町	大規模改修	
5	上郷中学校	上郷町	大規模改修	
6	高岡中学校	若林西町	大規模改修	
7	保見中学校	保見町	大規模改修	
8	猿投中学校	加納町	現状維持	
9	猿投台中学校	青木町	大規模改修	
10	石野中学校	力石町	現状維持	
11	松平中学校	九久平町	現状維持	
12	竜神中学校	竜神町	大規模改修	
13	美里中学校	美里	大規模改修	
14	逢妻中学校	新町	大規模改修	
15	若園中学校	花園町	大規模改修・ 施設更新・複合化	若園交流館と一部合築予定

16	梅坪台中学校	西山町	大規模改修	
17	前林中学校	前林町	大規模改修	
18	益富中学校	志賀町	大規模改修	
19	末野原中学校	豊栄町	大規模改修	
20	井郷中学校	井上町	大規模改修	
21	浄水中学校	大清水町	現状維持	
22	藤岡中学校	木瀬町	大規模改修	
23	藤岡南中学校	西中山町	現状維持	
24	小原中学校	永太郎町	大規模改修	
25	足助中学校	足助町	大規模改修	
26	下山中学校	大沼町	大規模改修	
27	旭中学校	杉本町	大規模改修	
28	稲武中学校	桑原町	現状維持	

＜特別支援学校＞

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	豊田特別支援学校	大清水町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 80 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、建設から30年以上経過している建物が大半を占めており、児童生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境を維持するために、施設の老朽化への対応や、社会環境の変化に伴う新たなニーズ（多様な学習活動の実施、安全性への配慮、環境負荷の低減、地域との連携等）に対応した整備が必要である。加えて、特別支援学校については、障がいの重度・重複化、多様化等の状況を踏まえつつ、障がいのある児童生徒の一人一人の教育的ニーズに対応した施設環境づくりが重要である。

それらを踏まえ、国が示す使用年数80年を目標に、施設の状態に応じ、長期にわたって使い続けるために、長寿命化改修を実施する必要がある。

実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	童子山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	御幸町	延床面積	9,510.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1991	1,273.00	3 階	
便所	RC 造	1991	23.00	1 階	
プール更衣棟	RC 造	1991	154.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1992	1,525.00	3 階	
食堂	RC 造	1992	21.00	3 階	
食堂	RC 造	1992	212.00	3 階	
多目的ホール	RC 造	1992	1,036.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	1992	4,441.00	3 階	
倉庫	S 造	1992	39.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	
校舎	RC 造	2015	772.00	3 階	
油庫	CB 造	2015	4.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２９年が経過しているが、校舎については２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	挙母小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	平芝町	延床面積	9,376.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
便所	CB 造	1978	27.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
体育館	S 造	1985	1,101.00	2 階	
プール機械室	RC 造	1991	55.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1991	79.00	1 階	
校舎	RC 造	2005	7,984.00	3 階	
倉庫	S 造	2005	26.00	1 階	
倉庫	S 造	2005	26.00	1 階	
倉庫	S 造	2006	26.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	根川小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	下林町	延床面積	5,581.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室棟	RC 造	1965	696.00	2 階	
管理棟	RC 造	1981	1,115.00	3 階	
教室	RC 造	1976	1,021.00	3 階	
倉庫	S 造	1977	51.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
教室	RC 造	1979	1,219.00	2 階	
教室	RC 造	1981	358.00	2 階	
渡り	RC 造	1979	26.00	2 階	
渡り	RC 造	1979	26.00	2 階	
体育館	S 造	1985	798.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1986	75.00	1 階	
便所	CB 造	1991	26.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1991	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1997	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2005	68.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５５年が経過しているが、校舎については２０１２年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	小清水小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	田町	延床面積	8,155.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1969	1,050.00	3 階	
教室	RC 造	1972	908.00	3 階	
配膳室	RC 造	1972	129.00	3 階	
便所	RC 造	1980	102.00	3 階	
配膳室	RC 造	1980	103.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1980	169.00	3 階	
燃料庫	CB 造	1974	8.00	1 階	
教室	RC 造	1978	1,366.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	1980	2,724.00	3 階	
エレベーター棟	RC 造	1993	36.00	3 階	
プール機械室	S 造	1983	29.00	2 階	
体育館	S 造	1983	1,244.00	2 階	
体育館倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
便所	CB 造	1984	24.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	2005	137.00	1 階	
倉庫	S 造	2004	40.00	1 階	
多目的トイレ	S 造	2017	8.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２０１０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	前山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	前山町	延床面積	9,050.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	W 造	1954	40.00	1 階	
教室	RC 造	1967	494.00	2 階	
教室	RC 造	1969	810.00	2 階	
教室	RC 造	1973	990.00	2 階	
倉庫	S 造	1977	26.00	1 階	
教室	RC 造	1979	2,254.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1982	71.00	2 階	
教室	RC 造	1982	1,158.00	3 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
体育館	S 造	1986	1,101.00	2 階	
器具倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
油庫	RC 造	1986	10.00	1 階	
プール更衣室	CB 造	1991	60.00	1 階	
プール機械室	CB 造	1991	43.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2000	24.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	2004	1,726.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	2004	141.00	3 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2008	50.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後６６年が経過しているが、計画期間内にも保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	山之手小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	山之手	延床面積	7,779.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1964	26.00	1 階	
教室	RC 造	1971	981.00	3 階	
教室	RC 造	1977	1,364.00	3 階	
教室	RC 造	1981	2,669.00	4 階	
体育館	S 造	1985	1,101.00	2 階	
屋外便所	RC 造	1995	21.00	1 階	
倉庫	S 造	1995	39.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2007	54.00	4 階	
校舎	RC 造	2016	1,398.00	3 階	
倉庫	S 造	2016	24.00	1 階	
プール更衣室	W 造	2017	102.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５６年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、改修・施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	美山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	美山町	延床面積	9,790.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1986	1,101.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1990	164.00	1 階	
体育倉庫	S 造	1998	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	
教室	RC 造	1998	4,499.00	3 階	
管理・特別教室棟	RC 造	1998	2,783.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1998	108.00	3 階	
倉庫	S 造	1998	26.00	1 階	
教室	RC 造	2006	1,049.00	3 階	
ごみ置き場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３４年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	寺部小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	上野町	延床面積	8,387.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
校舎	S 造	2015	2,626.00	2 階	
屋内運動場	RC 造	2015	1,148.00	1 階	
校舎	S 造	2015	4,380.00	2 階	
校舎	RC 造	2015	157.00	1 階	
校舎	W 造	2015	76.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５年が経過している。保全改修工事が行われた履歴はないが、築年数が比較的新しく健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	平井小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	百々町	延床面積	6,474.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1966	647.00	2 階	
管理・教室棟	RC 造	1967	665.00	2 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1968	827.00	2 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1971	1,333.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1973	1,399.00	3 階	
配膳室	RC 造	1992	107.00	3 階	
エレベーター	RC 造	1995	47.00	3 階	
屋外便所	CB 造	1977	25.00	1 階	
体育館	S 造	1986	1,101.00	2 階	
倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	11.00	1 階	
管理・教室棟（玄関）	RC 造	1991	55.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1991	169.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	22.00	1 階	
多目的便所	S 造	2005	14.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５４年が経過しているが、校舎については２０１２年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	野見小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	野見町	延床面積	6,659.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	W 造	1964	33.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1977	1,952.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1983	8.00	3 階	
体育館	S 造	1978	713.00	2 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	1990	145.00	1 階	
便所	S 造	1990	13.00	1 階	
倉庫	S 造	1993	13.00	1 階	
教室棟	RC 造	2013	1,940.00	3 階	
管理棟	RC 造	2013	337.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	2013	1,392.00	3 階	
倉庫・屋外便所	S 造	2013	87.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５６年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、改修・施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

11	施設名	古瀬間小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	志賀町	延床面積	7,062.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1973	2,632.00	3 階	
プロパン庫	CB 造	1973	3.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1983	489.00	3 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1990	6.00	1 階	
体育館	S 造	1976	784.00	2 階	
倉庫	S 造	1977	26.00	1 階	
教室	RC 造	1978	1,420.00	3 階	
教室	RC 造	1981	1,442.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1982	31.00	2 階	
機械室	CB 造	1978	8.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1985	51.00	1 階	
器具倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1997	72.00	1 階	
プール機械室	S 造	1997	22.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1997	24.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４７年が経過しているが、校舎については２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

12	施設名	矢並小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	矢並町	延床面積	2,754.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1973	1,161.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1980	478.00	3 階	
燃料庫	CB 造	1973	2.00	1 階	
倉庫	CB 造	1975	3.00	1 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1976	15.00	1 階	
体育館	S 造	1979	563.00	2 階	
倉庫・便所	CB 造	1979	70.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1985	332.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1999	78.00	1 階	

2　個別施設の状

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４７年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

13	施設名	高嶺小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	広美町	延床面積	7,183.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1965	992.00	2 階	
教室	RC 造	1971	794.00	3 階	
教室	RC 造	1978	1,100.00	3 階	
下足室	RC 造	1981	94.00	1 階	
便所	CB 造	1978	27.00	1 階	
体育館	S 造	1979	713.00	2 階	
倉庫	CB 造	1979	74.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1981	2,836.00	4 階	
プロパン庫	CB 造	1981	4.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
渡り廊下	S 造	1985	33.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1990	164.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2006	53.00	4 階	
倉庫	S 造	2007	26.00	1 階	
倉庫	S 造	2007	28.00	1 階	
倉庫	S 造	1998	8.00	1 階	
下足室	S 造	1981	86.00	3 階	
渡り廊下	S 造	1981	80.00	3 階	

渡り廊下	S造	2006	19.00	1階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５５年が経過しているが、校舎については２０１２年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	寿恵野小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	鴛鴨町	延床面積	6,462.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1967	832.00	3 階	
教室	RC 造	1971	662.00	3 階	
教室	RC 造	1978	2,310.00	3 階	
体育館	S 造	1981	798.00	2 階	
教室	RC 造	1982	1,417.00	2 階	
渡り廊下	S 造	1986	94.00	2 階	
倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1989	161.00	1 階	
油庫	CB 造	2003	7.00	1 階	
陶芸倉庫	S 造	1990	73.00	1 階	
配膳室	S 造	2002	37.00	1 階	
エレベーター	S 造	2003	26.00	3 階	
多目的便所	S 造	2003	9.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2003	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５３年が経過しているが、校舎については、２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

15	施設名	畝部小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	畝部西町	延床面積	5,654.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理棟	RC 造	1964	1,004.00	2 階	
教室	RC 造	1972	1,101.00	3 階	
教室	RC 造	1978	1,340.00	3 階	
教室	RC 造	1982	723.00	2 階	
管理棟（玄関）	S 造	1986	33.00	1 階	
屋外便所	CB 造	1976	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
体育館	S 造	1979	713.00	2 階	
倉庫	CB 造	1979	74.00	1 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1989	7.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1990	176.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	26.00	1 階	
教室	RC 造	2009	365.00	3 階	
屋外便所	W 造	2017	20.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５６年が経過しているが、校舎については２０１０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

16	施設名	堤小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	堤本町	延床面積	8,095.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1969	1,024.00	3 階	
教室	RC 造	1973	1,408.00	3 階	
屋外便所	CB 造	1977	22.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1979	2,416.00	4 階	
プロパン庫	S 造	1979	4.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1982	211.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1982	1,457.00	4 階	
プール更衣室	S 造	1983	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1983	20.00	1 階	
体育館	S 造	1984	1,278.00	2 階	
油庫	CB 造	1984	7.00	1 階	
倉庫	S 造	1986	52.00	1 階	
倉庫	S 造	1992	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1996	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1996	26.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2001	60.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

17	施設名	若園小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	中根町	延床面積	8,033.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1966	588.00	2 階	
地下倉庫	RC 造	1983	69.00	1 階	
教室	RC 造	1969	1,014.00	3 階	
ポンプ室	CB 造	1969	4.00	1 階	
機械室	RC 造	1971	997.00	3 階	
下足室	S 造	1969	34.00	2 階	
倉庫	S 造	1972	26.00	1 階	
教室	RC 造	1978	1,184.00	3 階	
管理棟	RC 造	1979	1,468.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1981	865.00	3 階	
印刷室	S 造	1989	69.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1979	66.00	3 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
体育館	S 造	1987	1,218.00	2 階	
体育館・便所	RC 造	1987	25.00	1 階	
体育館・倉庫	S 造	1993	44.00	1 階	
倉庫	S 造	1998	44.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1990	180.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1991	7.00	1 階	

屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2005	45.00	3 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５４年が経過しているが、校舎については２００８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

18	施設名	竹村小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	住吉町	延床面積	6,842.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1969	1,043.00	2 階	
教室	RC 造	1980	2,408.00	3 階	
倉庫	S 造	1975	40.00	1 階	
教室	RC 造	1975	1,185.00	3 階	
教室	RC 造	1979	1,054.00	3 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
体育館	RC 造	1977	746.00	2 階	
プロパン庫	CB 造	1980	11.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	19.00	1 階	
便所	CB 造	1984	27.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1997	175.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1997	18.00	1 階	
多目的便所（体育館）	CB 造	1998	6.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2005	48.00	3 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

19	施設名	駒場小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	駒場町	延床面積	5,869.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	CB 造	1968	13.00	1 階	
教室	RC 造	1973	875.00	3 階	
教室	RC 造	1979	1,393.00	3 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1976	20.00	1 階	
ポンプ室	CB 造	1979	18.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
管理棟	RC 造	1982	1,697.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1982	116.00	3 階	
体育館	S 造	1988	1,103.00	2 階	
倉庫	S 造	1988	26.00	1 階	
体育倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1993	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1996	21.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1998	78.00	1 階	
教室	RC 造	2005	346.00	3 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	
エレベーター棟	S 造	2012	49.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５２年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

20	施設名	大林小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大林町	延床面積	10,388.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1972	909.00	3 階	
教室	RC 造	1979	1,995.00	3 階	
教室	RC 造	1983	1,080.00	3 階	
教室	RC 造	1987	193.00	2 階	
教室	RC 造	1987	529.00	3 階	
配膳室	RC 造	1990	5.00	1 階	
体育館	S 造	1986	1,101.00	2 階	
倉庫	S 造	1987	18.00	1 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1987	7.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	84.00	2 階	
教室	RC 造	1992	37.00	1 階	
印刷室	RC 造	1992	41.00	1 階	
倉庫	S 造	1992	27.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1993	4,049.00	3 階	
プール専用付属室	RC 造	1994	235.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1994	14.00	1 階	
トイレ	S 造	2003	12.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、校舎については、２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

21	施設名	大畑小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大畑町	延床面積	3,435.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室	RC 造	1983	290.00	2 階	
倉庫	S 造	1985	42.00	1 階	
体育館	S 造	1989	798.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1995	143.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1995	15.00	1 階	
倉庫	S 造	1995	18.00	1 階	
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1997	2,103.00	2 階	
倉庫	S 造	1997	19.00	1 階	
油庫	S 造	1997	7.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３７年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年に保全改修工事を行う予定である。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

22	施設名	伊保小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	保見町	延床面積	4,763.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1977	745.00	2 階	
教室	RC 造	1979	733.00	2 階	
校舎	RC 造	1984	697.00	2 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1987	22.00	1 階	
体育館	S 造	1990	1,101.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1992	174.00	1 階	
油庫	CB 造	1992	7.00	1 階	
教室	RC 造	2002	1,232.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

23	施設名	加納小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	加納町	延床面積	5,769.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室・普通教室棟	RC 造	1981	1,497.00	3 階	
体育館	S 造	1982	793.00	2 階	
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1986	2,449.00	3 階	
教室	RC 造	1989	559.00	3 階	
教室	RC 造	1989	181.00	3 階	
油庫	RC 造	1986	10.00	1 階	
倉庫	S 造	1986	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1989	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1989	26.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1995	174.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３９年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

24	施設名	青木小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	青木町	延床面積	7,407.30 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	W 造	1957	91.00	1 階	
教室	W 造	1961	55.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1969	416.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1971	440.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1972	684.00	2 階	
屋外便所	CB 造	1976	25.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1977	2,037.00	3 階	
教室	RC 造	1978	2,056.00	3 階	
倉庫	S 造	1977	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	39.00	1 階	
体育館	S 造	1982	1,218.00	2 階	
便所	S 造	1982	26.00	1 階	
便所	S 造	2003	11.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	2006	158.00	1 階	
倉庫	S 造	2007	61.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2008	38.00	3 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	
油庫	W 造	2003	7.00	1 階	
倉庫	S 造	2020	9.30	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後６３年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

25	施設名	西広瀬小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	西広瀬町	延床面積	2,603.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室棟	RC 造	1977	574.00	2 階	
管理棟	RC 造	1980	1,195.00	3 階	
燃料庫	CB 造	1980	7.00	1 階	
体育館	S 造	1981	605.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1990	141.00	1 階	
倉庫	RC 造	1990	6.00	1 階	
観測所	RC 造	1991	55.00	2 階	
ほたる観察室	W 造	1995	20.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

26	施設名	東広瀬小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	東広瀬町	延床面積	3,107.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1970	1,129.00	3 階	
教室	RC 造	1978	672.00	3 階	
教室	RC 造	1997	122.00	2 階	
廊下	RC 造	1998	17.00	1 階	
倉庫	S 造	1972	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1976	15.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1987	7.00	1 階	
体育館	S 造	1990	768.00	2 階	
倉庫	RC 造	1990	102.00	1 階	
倉庫．便所	RC 造	1990	55.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1997	24.00	1 階	
プール更衣室	S 造	2000	78.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2017	66.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５０年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

27	施設名	中金小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	中金町	延床面積	2,491.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1979	527.00	2 階	
便所・倉庫	CB 造	1979	53.00	1 階	
プロパン庫	RC 造	1981	5.00	1 階	
教室	RC 造	1981	1,834.00	3 階	
倉庫	S 造	1981	15.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1983	40.00	1 階	
プール機械室	S 造	1983	17.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４１年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

28	施設名	上鷹見小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	上高町	延床面積	2,591.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1978	571.00	2 階	
体育館	S 造	1983	644.00	2 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1986	1,298.00	3 階	
油庫	RC 造	1986	7.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1989	26.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1989	19.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しており、保全改修工事が行われた履歴はないが、施設の劣化状況を把握しながら、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

29	施設名	幸海小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	幸海町	延床面積	3,704.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1982	1,398.00	3 階	
体育館	RC 造	1982	565.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1999	613.00	3 階	
油庫	CB 造	1982	5.00	1 階	
ポンプ室	RC 造	1982	17.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2001	26.00	1 階	
教室	RC 造	2005	1,016.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	2005	24.00	1 階	
倉庫	S 造	2006	40.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３８年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

30	施設名	岩倉小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	岩倉町	延床面積	5,278.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1981	2,097.00	3 階	
教室	RC 造	1989	1,001.00	4 階	
印刷室・更衣室	S 造	1990	105.00	1 階	
配膳室	S 造	1990	27.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
体育館	S 造	1982	568.00	2 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
体育館倉庫	CB 造	1991	47.00	1 階	
便所	S 造	1991	26.00	1 階	
教室	RC 造	1991	1,072.00	4 階	
渡り廊下	RC 造	1991	108.00	3 階	
屋外便所	RC 造	1997	24.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1991	75.00	1 階	
多目的便所	S 造	2002	9.00	1 階	
エレベーター棟	S 造	2004	57.00	4 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３９年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

31	施設名	九久平小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	九久平町	延床面積	4,717.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1969	1,302.00	2 階	
油庫	CB 造	1969	9.00	1 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
体育館	S 造	1980	598.00	2 階	
便所	CB 造	1980	16.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
教室・特別教室棟	RC 造	1986	1,228.00	3 階	
配膳室	RC 造	1986	25.00	2 階	
配膳室	S 造	1994	10.00	1 階	
倉庫	S 造	1988	19.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1991	153.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1993	1,257.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1993	48.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２００８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

32	施設名	滝脇小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	滝脇町	延床面積	2,445.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1975	353.00	2 階	
プール機械室	S 造	1980	20.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1980	33.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
教室	RC 造	1982	1,215.00	3 階	
体育館	S 造	1982	642.00	2 階	
特別教室棟	S 造	1986	130.00	2 階	
倉庫	RC 造	2001	16.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2012	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４５年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２４年に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

33	施設名	豊松小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	坂上町	延床面積	2,605.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1976	1,595.00	2 階	
倉庫	S 造	1976	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1976	26.00	1 階	
体育館	S 造	1977	618.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1979	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1979	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1988	10.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	15.00	1 階	
観察室	RC 造	1992	39.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1993	84.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	2001	83.00	1 階	
便所	S 造	2003	24.00	1 階	
油庫	S 造	2003	7.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４４年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

34	施設名	東山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	渋谷町	延床面積	7,245.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1970	1,995.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1972	1,427.00	3 階	
倉庫	CB 造	1972	8.00	1 階	
教室	RC 造	1976	1,438.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1982	774.00	3 階	
機械室	S 造	1976	9.00	1 階	
受水槽	CB 造	1976	19.00	.00	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1982	52.00	1 階	
体育館	S 造	1987	1,100.00	2 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
窯業室	CB 造	1989	3.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1991	169.00	1 階	
倉庫	S 造	1997	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2000	24.00	1 階	
教室	RC 造	1970	81.00	1 階	
教室	RC 造	1972	68.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や原因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５０年が経過しているが、校舎については２００８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

35	施設名	元城小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	八幡町	延床面積	4,796.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1971	2,088.00	3 階	
倉庫	S 造	1972	26.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1973	678.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1983	572.00	3 階	
油庫	RC 造	1993	7.00	1 階	
倉庫	S 造	1993	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1993	26.00	1 階	
体育館	SRC 造	1994	992.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1996	182.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2017	91.00	3 階	
渡り廊下棟	S 造	2017	108.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４９年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

36	施設名	梅坪小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	梅坪町	延床面積	9,559.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1972	2,858.00	3 階	
教室	RC 造	1977	1,336.00	3 階	
教室	RC 造	1999	2,284.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1999	149.00	3 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
体育館	S 造	1988	1,103.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1991	87.00	3 階	
倉庫	S 造	1991	32.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1992	15.00	1 階	
プール更衣棟	RC 造	1992	137.00	1 階	
倉庫	S 造	1992	32.00	1 階	
職員室	S 造	2000	66.00	1 階	
教室・特別教室棟	RC 造	2004	1,302.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	2004	132.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

37	施設名	朝日小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	朝日町	延床面積	6,018.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1973	2,853.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1973	1,102.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1979	618.00	3 階	
倉庫	S 造	1974	26.00	1 階	
体育館	S 造	1990	1,101.00	2 階	
倉庫	LWS 造	1990	52.00	1 階	
倉庫	CB 造	1991	17.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1992	171.00	1 階	
便所	RC 造	1992	19.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2008	52.00	3 階	
油庫	S 造	2008	7.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４７年が経過しているが、校舎については２０２０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

38	施設名	若林東小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	若林東町	延床面積	6,096.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
便所	CB 造	1975	21.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1974	1,934.00	4 階	
教室	RC 造	1975	1,613.00	4 階	
教室	RC 造	1978	617.00	4 階	
特別教室棟	RC 造	1983	918.00	4 階	
倉庫	S 造	1974	26.00	1 階	
体育館	RC 造	1975	762.00	2 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1976	17.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1998	78.00	1 階	
エレベーター室	S 造	2001	58.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４６年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

39	施設名	東保見小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	保見ケ丘	延床面積	7,388.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1974	2,199.00	4 階	
教室	RC 造	1979	1,904.00	4 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
体育館	S 造	1976	784.00	2 階	
プール機械室	S 造	1977	18.00	1 階	
屋外便所	CB 造	1979	14.00	1 階	
教室	RC 造	1984	684.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1984	43.00	2 階	
油庫	CB 造	1989	7.00	1 階	
器具倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	2001	79.00	1 階	
ごみ置き場	W 造	2004	10.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2010	64.00	4 階	
教室	S 造	2010	1,504.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４６年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

40	施設名	四郷小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	四郷町	延床面積	5,767.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1975	3,644.00	4 階	
教室	RC 造	1980	1,049.00	4 階	
体育館	RC 造	1975	762.00	2 階	
便所	CB 造	1975	21.00	1 階	
燃料庫	CB 造	1975	8.00	1 階	
倉庫	CB 造	1974	29.00	1 階	
倉庫	S 造	1975	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1976	17.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1999	78.00	1 階	
倉庫	W 造	2009	10.00	1 階	
エレベーター・便所棟	S 造	2015	97.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４６年が経過しているが、校舎については２０１０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

41	施設名	浄水小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	浄水町	延床面積	7,214.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室棟	RC 造	1976	942.00	4 階	
教室	RC 造	1977	2,478.00	4 階	
教室	RC 造	1980	731.00	4 階	
倉庫	S 造	1976	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1977	17.00	1 階	
体育館	S 造	1977	787.00	2 階	
プロパン庫	CB 造	1977	4.00	1 階	
燃料庫	CB 造	1977	8.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2001	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	2002	115.00	1 階	
体育倉庫	S 造	2008	46.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	2010	2,008.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４４年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

42	施設名	平和小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	平和町	延床面積	5,434.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1978	3,768.00	4 階	
プロパン庫	CB 造	1978	4.00	1 階	
教室	RC 造	1981	643.00	4 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
体育館	S 造	1978	787.00	2 階	
プール機械室	S 造	1978	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2006	26.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	2007	134.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、校舎については２００８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

43	施設名	市木小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	市木町	延床面積	5,985.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1977	2,357.00	4 階	
教室	RC 造	1978	1,774.00	4 階	
教室	RC 造	1979	346.00	4 階	
体育館	S 造	1978	787.00	2 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1978	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	23.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2000	26.00	1 階	
倉庫	RC 造	2001	37.00	4 階	
教室	RC 造	2001	413.00	4 階	
多目的便所	S 造	2003	8.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	2007	147.00	1 階	
倉庫	S 造	2000	21.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

44	施設名	若林西小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	若林西町	延床面積	4,830.62 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1978	3,361.00	4 階	
体育館	S 造	1978	763.00	2 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1978	20.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1978	58.00	1 階	
油庫	CB 造	1978	7.00	1 階	
倉庫	S 造	1992	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1995	21.00	1 階	
教室	RC 造	2005	438.00	4 階	
便所	S 造	1978	24.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	
エレベーター・多目的便所棟	S 造	2020	76.62	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

45	施設名	衣丘小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	三軒町	延床面積	5,475.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1978	2,205.00	4 階	
教室	RC 造	1979	1,618.00	4 階	
教室	RC 造	1979	18.00	4 階	
プロパン庫	CB 造	1979	4.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
体育館	S 造	1979	713.00	2 階	
便所	CB 造	1979	74.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1989	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1989	7.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2004	45.00	4 階	
教室	RC 造	2010	524.00	4 階	
更衣室	RC 造	2010	139.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

46	施設名	土橋小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	土橋町	延床面積	5,816.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1978	776.00	3 階	
教室	RC 造	1979	774.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1982	109.00	3 階	
教室	RC 造	1978	1,041.00	4 階	
教室	RC 造	1979	1,581.00	4 階	
教室	RC 造	1979	23.00	4 階	
配膳室	CB 造	1979	4.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1984	517.00	3 階	
プール更衣室	S 造	1979	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1979	20.00	1 階	
体育館	S 造	1979	713.00	2 階	
倉庫	CB 造	1979	74.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1988	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2001	26.00	1 階	
渡り廊下	S 造	2005	48.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

47	施設名	広川台小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	渋谷町	延床面積	5,133.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1980	4,141.00	3 階	
プロパン庫	CB 造	1980	4.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
体育館	S 造	1981	798.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1981	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1981	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
多目的便所	S 造	2002	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４０年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、改修・施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

48	施設名	井上小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	井上町	延床面積	5,245.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1984	3,068.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1984	1,116.00	3 階	
倉庫	CB 造	1984	7.00	1 階	
体育館	S 造	1984	798.00	2 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1985	71.00	1 階	
プール機械室	S 造	1985	22.00	1 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1989	11.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	
エレベーター棟	S 造	2012	50.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３６年が経過しているが、校舎については２０２０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

49	施設名	五ケ丘小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	五ケ丘	延床面積	6,804.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1986	869.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1986	1,282.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1986	28.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	1986	1,431.00	3 階	
体育館	S 造	1986	1,071.00	2 階	
プール更衣室	RC 造	1987	82.00	1 階	
倉庫	RC 造	1987	45.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1987	34.00	2 階	
教室	RC 造	1988	780.00	3 階	
教室	S 造	1991	1,134.00	2 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2007	48.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３４年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

50	施設名	西保見小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	保見ケ丘	延床面積	6,941.04 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
北校舎	RC 造	1987	1,870.00	3 階	
中校舎	RC 造	1987	1,663.00	3 階	
教室	RC 造	1987	1,908.00.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1987	67.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1987	42.00	2 階	
倉庫・便所	RC 造	1987	140.00	1 階	
体育館	S 造	1987	1,118.00	2 階	
プール監視室	RC 造	1988	11.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1988	68.00	1 階	
プール腰洗室	RC 造	1988	7.00	1 階	
プール薬液庫	RC 造	1988	2.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1988	37.00	1 階	
多目的便所棟	S 造	2020	8.04.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３３年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

51	施設名	五ケ丘東小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	五ケ丘	延床面積	6,251.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1989	4,115.00	4 階	
体育館	S 造	1989	1,097.00	2 階	
倉庫・便所	RC 造	1989	47.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1989	40.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1989	96.00	1 階	
教室	RC 造	1991	830.00	4 階	
倉庫	S 造	1991	26.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３１年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

52	施設名	浄水北小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	浄水町	延床面積	9,041.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
普通教室棟	RC 造	2013	2,528.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	2013	4,668.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	2013	489.00	2 階	
屋内運動場	RC 造	2013	1,156.00	1 階	
倉庫・便所	RC 造	2013	68.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	2013	122.00	1 階	
ポンプ室棟	RC 造	2013	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後７年が経過している。保全改修工事が行われた履歴はないが、築年数が比較的新しく健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

53	施設名	飯野小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	藤岡飯野町	延床面積	6,460.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1995	5,638.00	5 階	
体育館	RC 造	1975	547.00	2 階	
体育館便所	S 造	1975	21.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1977	86.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1995	81.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1995	26.00	1 階	
ごみ置場	CB 造	1998	6.00	1 階	
陶芸教室	S 造	2001	29.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４５年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

54	施設名	石畳小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	石畳町	延床面積	5,203.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1998	3,893.00	2 階	
ごみ置場	CB 造	1998	10.00	1 階	
車庫・倉庫	S 造	1998	72.00	1 階	
体育器具庫・屋外便所	S 造	1998	77.00	1 階	
飼育小屋	CB 造	1998	13.00	1 階	
陶芸教室	S 造	2000	36.00	1 階	
体育館	RC 造	2001	934.00	2 階	
プール専用付属室	S 造	2004	168.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２２年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２６年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進	
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善	
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減	
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

55	施設名	御作小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	御作町	延床面積	2,116.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1966	739.00	2 階	
体育館	S 造	1970	371.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	37.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1980	428.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1999	212.00	2 階	
体育館倉庫	CB 造	1981	23.00	1 階	
体育館便所	CB 造	1980	17.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	1981	59.00	1 階	
倉庫	S 造	1992	8.00	1 階	
ごみ置場	CB 造	1998	9.00	1 階	
倉庫	S 造	2002	36.00	1 階	
廊下	RC 造	1978	141.00	2 階	
便所	CB 造	1993	36.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５４年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

56	施設名	中山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	西中山町	延床面積	5,291.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・特別教室棟	RC 造	1966	782.00	2 階	
倉庫	CB 造	1970	30.00	1 階	
体育館	RC 造	1977	552.00	2 階	
教室	RC 造	1978	320.00	2 階	
倉庫	W 造	1974	35.00	1 階	
教室・特別教室棟	RC 造	1982	671.00	2 階	
教室・特別教室棟	RC 造	1984	329.00	2 階	
給湯室	S 造	1985	65.00	1 階	
給湯室（渡り）	S 造	1991	26.00	1 階	
教室	RC 造	1992	791.00	3 階	
ごみ置場	CB 造	1998	9.00	1 階	
倉庫	S 造	1999	96.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	2002	193.00	1 階	
教室・特別教室棟	RC 造	1987	1,009.00	2 階	
管理棟（廊下）	RC 造	1978	106.00	1 階	
管理棟（事務室）	S 造	2001	23.00	1 階	
階段	S 造	2009	79.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2009	50.00	1 階	
管理・特別教室棟	S 造	2015	94.00	1 階	

エレベーター棟	Ｓ造	2019	31.00	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５４年が経過しているが、校舎については２０１２年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

57	施設名	道慈小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	千洗町	延床面積	3,614.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育倉庫	S 造	2001	40.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	1981	72.00	1 階	
教室	RC 造	2000	1,238.00	2 階	
体育館	RC 造	1980	703.00	2 階	
管理棟	RC 造	2000	826.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	2000	29.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1985	706.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３９年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２４年度に保全改修工事を行う予定である。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

58	施設名	本城小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	市場町	延床面積	2,692.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	RC 造	1981	703.00	2 階	
教室	RC 造	1979	1,177.00	2 階	
プール専用付属室	S 造	1980	72.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1979	704.00	2 階	
プロパン庫	RC 造	1979	5.00	1 階	
屋外便所	S 造	2008	11.00	1 階	
倉庫	W 造	2015	20.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４１年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

59	施設名	小原中部小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	遊屋町	延床面積	3,351.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室（便所）	S 造	2003	7.00	1 階	
教室	RC 造	1977	1,871.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	1992	133.00	1 階	
体育器具庫	S 造	1970	98.00	1 階	
プロパン庫	RC 造	1977	7.00	1 階	
教室	RC 造	2003	503.00	2 階	
屋外便所	S 造	1970	24.00	1 階	
体育館	RC 造	1977	637.00	2 階	
屋外便所	S 造	1988	22.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2008	24.00	2 階	
体育館（放送室）	RC 造	1997	25.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５０年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修　工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

60	施設名	足助小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	足助町	延床面積	3,780.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
屋外便所	W 造	1998	11.00	1 階	
体育倉庫	W 造	1996	27.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1993	49.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1993	43.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1974	1,172.00	2 階	
教室	RC 造	1973	1,814.00	3 階	
体育館	W 造	1938	644.00	1 階	
配膳室	W 造	1984	20.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後８２年が経過しているが、校舎については２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

61	施設名	冷田小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	四ツ松町	延床面積	1,809.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	W 造	2004	1,313.00	1 階	
体育館	W 造	2004	454.00	1 階	
倉庫	W 造	2004	42.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１６年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２６年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

62	施設名	追分小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	近岡町	延床面積	1,271.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
図書室	W 造	1977	33.00	1 階	
管理棟	W 造	1959	835.00	2 階	
便所	W 造	1959	26.00	1 階	
体育館・特別教室	W 造	1961	265.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	22.00	1 階	
倉庫	S 造	1975	15.00	1 階	
配膳室	W 造	1962	47.00	1 階	
屋外便所	W 造	1995	11.00	1 階	
管理棟（印刷室）	W 造	1977	17.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後６１年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２３年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

63	施設名	佐切小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	上脇町	延床面積	1,312.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	LWS 造	1981	37.00	1 階	
体育館	RC 造	1998	149.00	1 階	
倉庫・飼育小屋	S 造	1998	32.00	1 階	
教具庫	S 造	1985	33.00	2 階	
管理・教室棟	RC 造	1980	910.00	2 階	
特別教室	RC 造	1998	133.00	2 階	
倉庫	W 造	2000	18.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４１年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２５年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

64	施設名	則定小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	則定町	延床面積	1,308.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
図書室	S 造	1981	65.00	1 階	
便所	S 造	1988	59.00	1 階	
体育倉庫	W 造	1958	27.00	1 階	
配膳室	W 造	1956	46.00	1 階	
倉庫	CB 造	1956	26.00	1 階	
体育館	W 造	1961	212.00	2 階	
校舎（ＣＰルーム）	W 造	1961	51.00	1 階	
管理・教室棟	W 造	1962	790.00	2 階	
倉庫（西）	W 造	1962	26.00	1 階	
倉庫	W 造	1996	6.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後６４年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２３年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

65	施設名	萩野小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑田和町	延床面積	2,192.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	W 造	1996	40.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1995	2,152.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２５年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

66	施設名	明和小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	平沢町	延床面積	1,394.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	W 造	1961	534.00	2 階	
管理・教室棟	W 造	1961	370.00	1 階	
体育館	W 造	1962	264.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	1994	80.00	1 階	
便所	W 造	1989	52.00	1 階	
倉庫	S 造	1988	78.00	1 階	
体育館倉庫	W 造	2000	16.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５９年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２４年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

67	施設名	新盛小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	新盛町	延床面積	1,586.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1965	228.00	1 階	
和室	W 造	1965	46.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1972	1,065.00	2 階	
倉庫	W 造	1980	27.00	1 階	
倉庫	W 造	1975	5.00	1 階	
倉庫	W 造	1975	6.00	1 階	
倉庫	W 造	1975	35.00	1 階	
配膳室	W 造	1968	49.00	1 階	
プール機械室	S 造	1994	51.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1994	38.00	1 階	
便所	RC 造	1996	36.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５５年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２５年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

68	施設名	大蔵小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大蔵町	延床面積	1,779.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1972	232.00	1 階	
倉庫	W 造	1972	34.00	1 階	
和室	W 造	1972	44.00	1 階	
倉庫	W 造	1972	26.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1979	1,103.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	2000	316.00	2 階	
エレベーター棟	S 造	2019	24.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。 Meeting

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２４年度に保全改修工事を行う予定である。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

69	施設名	御蔵小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	御蔵町	延床面積	2,290.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1969	230.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1997	1,999.00	3 階	
倉庫	W 造	1998	27.00	1 階	
体育館倉庫	W 造	1978	34.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、計画期間内に屋根・外壁改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２６年度に屋根・外壁改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

70	施設名	花山小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	下山田代町	延床面積	5,009.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1990	2,679.00	2 階	
体育館	RC 造	1991	1,116.00	2 階	
クラブハウス	RC 造	1991	202.00	1 階	
特別教室	RC 造	1992	197.00	1 階	
管理・特別教室棟	RC 造	1994	752.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1992	63.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３０年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善	
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減	
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

71	施設名	大沼小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大沼町	延床面積	3,141.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	2010	3,108.00	3 階	
倉庫	S 造	2007	11.00	1 階	
倉庫	S 造	2007	11.00	1 階	
倉庫	S 造	2007	11.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後１３年が経過している。保全改修工事が行われた履歴はないが、築年数が比較的新しく健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

72	施設名	巴ケ丘小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大桑町	延床面積	4,708.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	W 造	2005	1,782.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	2005	1,816.00	2 階	
体育館	S 造	2005	880.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	2005	140.00	1 階	
屋外便所	W 造	2005	73.00	1 階	
飼育小屋	W 造	2005	17.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１５年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

73	施設名	小渡小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	下切町	延床面積	2,795.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1968	1,948.00	2 階	
プール専用付属室	S 造	2001	108.00	1 階	
倉庫	W 造	2001	56.00	1 階	
体育館	S 造	1969	599.00	1 階	
便所	S 造	1969	19.00	1 階	
倉庫	W 造	1969	45.00	1 階	
便所	W 造	1991	14.00	1 階	
配膳室	W 造	1998	6.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５２年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

74	施設名	敷島小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	杉本町	延床面積	2,332.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1969	1,556.00	2 階	
体育館	S 造	1970	360.00	1 階	
倉庫	S 造	1970	83.00	1 階	
便所	W 造	1972	16.00	1 階	
教室	RC 造	1997	157.00	2 階	
便所	S 造	1992	8.00	1 階	
更衣室	S 造	2002	10.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	2009	142.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

75	施設名	稲武小学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	稲武町	延床面積	5,417.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1981	3,449.00	3 階	
特別教室・体育館	RC 造	1981	1,396.00	2 階	
ランチルーム	RC 造	1981	316.00	1 階	
体育器具庫	RC 造	1981	114.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1981	9.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1981	133.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３９年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善	
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減	
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

1	施設名	崇化館中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	栄町	延床面積	9,530.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1958	437.00	2 階	
管理棟	RC 造	1965	822.00	2 階	
倉庫	RC 造	1959	87.00	1 階	
倉庫	W 造	1959	12.00	1 階	
教室	RC 造	1970	1,192.00	3 階	
配膳室	CB 造	1983	3.00	1 階	
教室	RC 造	1983	1,520.00	3 階	
教室	RC 造	1974	2,301.00	3 階	
燃料庫	CB 造	1976	8.00	1 階	
体育館	S 造	1980	1,216.00	2 階	
体育館倉庫	S 造	1990	57.00	1 階	
便所	CB 造	1980	27.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1980	146.00	2 階	
武道場	S 造	1981	326.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1982	857.00	2 階	
屋外便所	CB 造	1983	14.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1984	49.00	2 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	

陶芸教室	S 造	1983	51.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1985	71.00	1 階	
プール機械室	S 造	1985	22.00	1 階	
管理棟（印刷室）	S 造	1991	41.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2006	44.00	2 階	
渡り廊下	S 造	1974	74.00	1 階	
渡り廊下	S 造	2006	65.00	2 階	
ごみ置場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後６２年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	朝日丘中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	朝日ケ丘	延床面積	15,291.13 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・特別教室棟	RC 造	1967	951.00	2 階	取壊し予定
教室	RC 造	1970	1,045.00	3 階	取壊し予定
教室	RC 造	1972	1,509.00	3 階	取壊し予定
教室	RC 造	1982	986.00	3 階	取壊し予定
窯業室	S 造	1972	49.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1973	780.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1982	519.00	2 階	
体育館	S 造	1978	1,211.00	2 階	
武道場	S 造	1980	326.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1981	146.00	2 階	
プール機械室	S 造	1983	20.00	1 階	
弓道場（射場）	S 造	1985	24.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1987	364.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1992	382.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1992	51.00	2 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
体育館倉庫・便所	S 造	1991	102.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2000	44.00	1 階	取壊し予定

油庫	S造	2002	7.00	1階	
プール更衣室	S造	2004	131.00	1階	
教室・管理棟	S造	2020	6,454.00	4階	
屋外便所棟	RC造 一部W造	2019	45.36	1階	
屋外倉庫	S造	2019	16.47	1階	
屋外倉庫	S造	2019	16.47	1階	
ポンプ室棟	RC造	2020	40.00	1階	
エレベーター棟	S造	2020	19.83	2階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	豊南中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	水源町	延床面積	9,989.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1961	737.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1984	5.00	1 階	
管理・教室棟（玄関）	S 造	1984	22.00	1 階	
管理・教室棟（印刷室）	S 造	1994	25.00	1 階	
管理・教室棟（玄関）	S 造	1994	12.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1965	654.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1968	87.00	1 階	
教室	RC 造	1979	2,657.00	4 階	
特別教室棟	RC 造	1982	1,023.00	4 階	
プロパン庫	CB 造	1979	8.00	1 階	
体育館	S 造	1980	1,216.00	2 階	
便所	CB 造	1980	26.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1982	172.00	4 階	
教室	RC 造	1982	2,464.00	4 階	
課外活動部室	S 造	1982	122.00	2 階	
武道場	S 造	1984	333.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
プール専用付属室	CB 造	1991	109.00	1 階	
体育館倉庫	S 造	1991	56.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2000	24.00	1 階	

倉庫	S造	2001	39.00	1階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S造	2008	71.00	4階	
渡り廊下	S造	2008	83.00	2階	
油庫	S造	2008	7.00	1階	
倉庫	RC造	1984	11.00	1階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５９年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	高橋中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	高橋町	延床面積	8,950.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1964	1,501.00	3 階	
特別教室	RC 造	1990	821.00	3 階	
管理・特別教室棟	RC 造	1971	984.00	3 階	
管理・特別教室棟（玄関）	S 造	1991	33.00	1 階	
管理・特別教室棟（手洗い）	RC 造	1991	5.00	1 階	
体育館	S 造	1975	1,067.00	1 階	
体育館ステージ	S 造	1978	235.00	2 階	
便所	CB 造	1975	24.00	1 階	
教室	RC 造	1979	1,778.00	3 階	
特別教室・普通教室棟	RC 造	1982	1,299.00	3 階	
課外活動部室	S 造	1982	122.00	2 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
武道場	S 造	1983	335.00	1 階	
プール機械室	RC 造	1989	96.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1989	96.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1992	97.00	2 階	
油庫	CB 造	1993	7.00	1 階	
特別教室棟	S 造	1999	296.00	1 階	
エレベーター・多目的便所棟	S 造	2007	46.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1982	70.00	3 階	

屋外便所	W 造	2014	12.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５６年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	上郷中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	上郷町	延床面積	9,553.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1977	1,210.00	2 階	
倉庫	S 造	1977	26.00	1 階	
教室	RC 造	1979	2,397.00	4 階	
管理棟	RC 造	1982	2,586.00	4 階	
倉庫	S 造	1979	22.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1981	1,670.00	4 階	
武道場	S 造	1981	326.00	1 階	
技術科棟	S 造	1982	358.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1983	51.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	52.00	1 階	
倉庫	RC 造	1985	20.00	1 階	
便所	CB 造	1985	21.00	.00	
プール更衣室・機械室	S 造	1987	75.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1987	73.00	2 階	
的場倉庫	S 造	1987	8.00	1 階	
的場倉庫	S 造	1987	4.00	1 階	
弓道場	S 造	1987	90.00	1 階	
油庫	CB 造	1989	10.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1999	124.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	2009	378.00	4 階	

エレベーター・ 多目的便所棟	S造	2009	52.00	4階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	高岡中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	若林西町	延床面積	8,394.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1961	661.00	2 階	
管理棟	RC 造	1963	940.00	2 階	
管理棟	RC 造	1984	454.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1984	61.00	2 階	
廊下	RC 造	1984	26.00	2 階	
廊下	RC 造	1984	2.00	2 階	
教室	RC 造	1968	835.00	2 階	
教室	RC 造	1984	684.00	2 階	
特別教室棟	RC 造	1971	320.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1979	792.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1984	1,366.00	3 階	
武道場	S 造	1980	326.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	52.00	1 階	
倉庫	RC 造	1984	10.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1984	73.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1984	73.00	2 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1988	19.00	1 階	
プール更衣室	RC 造	1992	177.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1995	21.00	1 階	

体育館	S造	2004	1,435.00	2階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S造	2004	41.00	3階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５９年が経過しているが、校舎については２０１１年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	保見中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	保見町	延床面積	8,536.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1982	4,499.00	4 階	
特別教室棟	RC 造	1985	436.00	4 階	
教室	RC 造	1985	368.00	4 階	
倉庫	S 造	1994	16.00	1 階	
特別教室棟	S 造	1982	358.00	1 階	
体育館	S 造	1982	1,244.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1982	146.00	2 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1983	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1983	20.00	1 階	
プロパン庫	RC 造	1982	18.00	1 階	
武道場	S 造	1984	333.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1985	51.00	1 階	
倉庫	S 造	1987	26.00	1 階	
教室	RC 造	1991	55.00	4 階	
教室	RC 造	1991	781.00	4 階	
体育倉庫	S 造	1992	51.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３８年が経過しているが、校舎については２０１０年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	猿投中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	加納町	延床面積	7,339.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
プール更衣室	S 造	1984	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1984	20.00	1 階	
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1983	2,534.00	3 階	
教室棟	RC 造	1990	736.00	3 階	
油庫	S 造	2003	10.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1988	863.00	2 階	
体育館	S 造	1988	1,309.00	2 階	
武道場	S 造	1989	333.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2003	64.00	3 階	
教室・特別教室棟	RC 造	2017	1,352.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	2017	60.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３６年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	猿投台中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	青木町	延床面積	8,651.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1972	789.00	3 階	
倉庫	S 造	1976	26.00	1 階	
管理・教室棟	RC 造	1978	2,205.00	4 階	
教室	RC 造	1990	16.00	1 階	
体育館	S 造	1979	1,216.00	2 階	
体育館便所	CB 造	1979	28.00	1 階	
教室	RC 造	1981	3,238.00	4 階	
玄関	S 造	1990	62.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1982	194.00	2 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
武道場	S 造	1983	333.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	15.00	1 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1990	51.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1981	7.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1993	178.00	1 階	
プール便所	RC 造	1993	17.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2011	61.00	2 階	

渡り廊下	Ｓ造	2011	137.00	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	石野中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	力石町	延床面積	5,026.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理棟	RC 造	1979	1,262.00	3 階	
教室	RC 造	1981	1,406.00	3 階	
課外活動部室	S 造	1981	97.00	2 階	
技術棟	RC 造	1982	392.00	2 階	
武道場	RC 造	1982	369.00	2 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
体育館	S 造	1983	1,218.00	2 階	
便所	CB 造	1983	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
農機具庫	S 造	1987	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1996	10.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1996	144.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1997	24.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４１年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

11	施設名	松平中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	九久平町	延床面積	6,626.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1976	981.00	1 階	
体育館	S 造	1979	239.00	2 階	
体育館倉庫	S 造	1989	30.00	1 階	
教室	RC 造	1980	2,913.00	3 階	
教室	RC 造	1990	631.00	4 階	
教室	RC 造	1996	72.00	1 階	
教室	RC 造	1996	446.00	4 階	
武道場	S 造	1982	326.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1986	433.00	1 階	
器具倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1986	184.00	2 階	
便所	S 造	1990	7.00	1 階	
弓道場	S 造	1990	90.00	1 階	
的場	S 造	1990	5.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	7.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1991	178.00	1 階	
倉庫	S 造	2001	7.00	1 階	
多目的便所	S 造	2002	8.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2006	43.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４４年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

12	施設名	竜神中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	竜神町	延床面積	10,051.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1972	2,191.00	3 階	
教室	RC 造	1973	1,345.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1977	54.00	1 階	
教室	RC 造	1980	1,560.00	3 階	
倉庫	S 造	1973	26.00	1 階	
燃料庫	CB 造	1972	8.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1973	670.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1980	617.00	3 階	
技術棟	S 造	1973	363.00	1 階	
体育館	RC 造	1973	862.00	1 階	
便所	CB 造	1973	24.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1974	123.00	1 階	
倉庫	S 造	1976	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1981	97.00	2 階	
武道場	S 造	1982	326.00	1 階	
体育館	S 造	1983	1,218.00	2 階	
便所	CB 造	1983	26.00	1 階	
プール専用付属室	RC 造	1994	173.00	1 階	

屋外便所	RC 造	1996	21.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2007	51.00	3 階	
渡り廊下	S 造	2007	208.00	3 階	
ごみ置き場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、校舎については２０１２年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

13	施設名	美里中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	美里	延床面積	8,244.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
プール機械室	S 造	1977	20.00	1 階	
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1977	3,917.00	4 階	
教室	RC 造	1979	1,318.00	4 階	
特別教室棟	RC 造	1981	374.00	4 階	
特別教室棟	S 造	1977	358.00	1 階	
体育館	S 造	1977	1,210.00	2 階	
便所	CB 造	1977	29.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1983	73.00	2 階	
武道場	S 造	1984	332.00	1 階	
便所	RC 造	1985	26.00	1 階	
倉庫	RC 造	1985	129.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1994	194.00	2 階	
プール更衣室	S 造	2002	115.00	1 階	
便所	S 造	2003	10.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2008	54.00	4 階	
油庫	S 造	2008	7.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、校舎については２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	逢妻中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	新町	延床面積	9,339.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
配膳室	RC 造	1977	193.00	4 階	
管理・特別教室棟	RC 造	1977	825.00	4 階	
教室	RC 造	1978	1,615.00	4 階	
教室	RC 造	1978	1,004.00	4 階	
教室	RC 造	1980	1,338.00	4 階	
教室	RC 造	1980	747.00	4 階	
技術棟	S 造	1978	358.00	1 階	
プール機械室	S 造	1978	20.00	1 階	
体育館	S 造	1978	1,216.00	2 階	
体育館倉庫	S 造	1993	47.00	1 階	
便所	CB 造	1978	29.00	1 階	
倉庫	S 造	1978	26.00	1 階	
燃料庫	CB 造	1978	8.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1983	51.00	1 階	
武道場	S 造	1984	333.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	
教室	RC 造	1985	886.00	2 階	

渡り廊下	RC 造	1985	28.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1985	146.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1983	73.00	2 階	
屋外便所	RC 造	2001	26.00	1 階	
プール更衣室	S 造	2001	86.00	1 階	
教室	S 造	2008	43.00	1 階	
職員室	S 造	2008	77.00	1 階	
エレベーター棟	S 造	2013	60.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、校舎については２００８・２００９年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

15	施設名	若園中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	花園町	延床面積	8,391.75 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理棟	RC 造	1978	2,345.00	3 階	
教室	RC 造	1983	770.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1978	369.00	3 階	
教室	RC 造	1979	632.00	3 階	
特別教室棟	RC 造	1983	745.00	3 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1979	26.00	1 階	
便所	CB 造	1979	23.00	1 階	
体育館	S 造	1979	1,216.00	2 階	
体育館倉庫	S 造	1994	41.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1979	49.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1979	97.00	1 階	
武道場	S 造	1983	333.00	1 階	
管理棟・印刷室	S 造	1984	50.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1985	51.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1989	686.00	3 階	
技術科棟	S 造	1996	358.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2001	26.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	2002	190.00	1 階	
渡り廊下棟	S 造	2013	168.00	3 階	

エレベーター・ 渡り廊下棟	Ｓ造	2013	159.00	３階	
倉庫	Ｓ造	2020	31.75	１階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４２年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
隣接している若園交流館と若園中学校技術科棟の合築整備として、２０２３年度の供用開始に向けて改築工事を行う予定である。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

16	施設名	梅坪台中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	西山町	延床面積	9,449.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1980	4,809.00	4 階	
教室	RC 造	1983	1,301.00	4 階	
教室	S 造	1980	358.00	1 階	
倉庫	S 造	1980	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1980	146.00	2 階	
体育館	S 造	1981	1,243.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1981	58.00	1 階	
プール機械室	S 造	1981	20.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	15.00	1 階	
武道場	S 造	1983	335.00	1 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
油庫	CB 造	1989	7.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2007	59.00	4 階	
管理棟	RC 造	2011	175.00	1 階	
教室	RC 造	2011	795.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４０年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２２年に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

17	施設名	前林中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	前林町	延床面積	8,391.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1981	5,913.00	4 階	
教室	S 造	1981	358.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	26.00	1 階	
倉庫	CB 造	1981	7.00	1 階	
体育館	S 造	1982	1,244.00	2 階	
プール更衣室	S 造	1982	58.00	1 階	
プールシャワー室	S 造	1990	20.00	1 階	
プールシャワー室	S 造	1990	16.00	1 階	
プール機械室	S 造	1982	20.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1982	194.00	2 階	
倉庫	S 造	1982	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1984	18.00	1 階	
武道場	S 造	1984	335.00	1 階	
体育館倉庫	S 造	1990	39.00	1 階	
便所	S 造	1990	14.00	1 階	
便所	S 造	1990	14.00	1 階	
倉庫	S 造	1991	18.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2000	26.00	1 階	
多目的便所	S 造	2002	9.00	1 階	
エレベーター	S 造	2004	36.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３９年が経過しているが、校舎については２０１３年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

18	施設名	益富中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	志賀町	延床面積	9,556.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1983	3,285.00	3 階	
管理棟	RC 造	1996	82.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1983	2,054.00	3 階	
渡り廊下	RC 造	1983	68.00	2 階	
体育館	S 造	1983	1,219.00	2 階	
便所	S 造	1983	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	26.00	1 階	
倉庫	S 造	1983	52.00	1 階	
油庫	RC 造	1983	10.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1983	146.00	2 階	
プール機械室	S 造	1984	20.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1984	58.00	1 階	
武道場	S 造	1985	335.00	1 階	
教室	RC 造	1988	918.00	3 階	
倉庫	S 造	1992	26.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1996	1,141.00	3 階	
屋外便所	RC 造	1998	24.00	1 階	
体育館倉庫	S 造	2000	56.00	1 階	
ごみ置き場	W 造	2004	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３７年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

19	施設名	末野原中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	豊栄町	延床面積	9,989.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
体育館	S 造	1984	1,245.00	2 階	
体育館倉庫	CB 造	1990	51.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1985	62.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	1985	3,890.00	4 階	
教室	RC 造	1986	423.00	4 階	
特別教室棟	RC 造	1985	2,097.00	3 階	
技術科棟	S 造	1985	358.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1985	146.00	2 階	
倉庫	S 造	1985	52.00	1 階	
倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
プール機械室	CB 造	1985	22.00	1 階	
柔剣道場	S 造	1985	333.00	1 階	
武道場	S 造	1986	50.00	1 階	
的場	S 造	1990	4.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1991	721.00	3 階	
管理棟	RC 造	1991	154.00	2 階	
渡り廊下	RC 造	1991	75.00	2 階	
油庫	CB 造	1991	11.00	1 階	
弓道場	W 造	1992	20.00	1 階	
的場	W 造	1996	8.00	1 階	

的場	W 造	1992	15.00	1 階	
プール更衣室	S 造	1991	71.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
巻藁場	S 造	2002	38.00	1 階	
便所	S 造	2003	10.00	1 階	
エレベーター	S 造	2005	45.00	4 階	
倉庫	S 造	2002	38.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３６年が経過しているが、計画期間内に保全改修工事が予定されているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。２０２１年度に保全改修工事を行う予定である。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

20	施設名	井郷中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	井上町	延床面積	7,578.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
ストーブ倉庫	S 造	1985	26.00	1 階	
技術科棟・武道場	RC 造	1985	765.00	2 階	
体育館	SRC 造	1985	1,219.00	2 階	
体育館便所	CB 造	1985	26.00	1 階	
課外活動部室	S 造	1985	194.00	2 階	
倉庫	S 造	1985	52.00	1 階	
油庫	RC 造	1985	10.00	1 階	
管理・特別教室棟	RC 造	1986	2,786.00	4 階	
教室	RC 造	1986	2,197.00	4 階	
プール更衣室	S 造	1986	75.00	1 階	
倉庫	S 造	1986	26.00	1 階	
陶芸教室	S 造	1988	51.00	1 階	
体育館倉庫	LWS 造	1990	32.00	1 階	
屋外便所	S 造	1990	14.00	1 階	
屋外便所	RC 造	1999	24.00	1 階	
ごみ置場	W 造	2003	10.00	1 階	
エレベーター・ 多目的便所棟	S 造	2016	71.00	4 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３５年が経過しているが、校舎については２００８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

21	施設名	浄水中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大清水町	延床面積	10,346.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
校舎	RC 造	2015	5,465.00	4 階	
校舎	RC 造	2015	1,656.00	2 階	
校舎	RC 造	2015	240.00	1 階	
校舎	RC 造	2015	809.00	1 階	
屋内運動場	RC 造	2015	1,352.00	1 階	
部室	RC 造	2015	120.00	1 階	
屋内運動場	RC 造	2015	415.00	1 階	
校舎	S 造	2015	82.00	1 階	
校舎	W 造	2015	49.00	1 階	
校舎	W 造	2015	97.00	1 階	
校舎	RC 造	2015	61.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５年が経過している。保全改修工事が行われた履歴はないが、築年数が比較的新しく健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

22	施設名	藤岡中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	木瀬町	延床面積	9,515.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
特別教室・普通教室棟	RC 造	1975	3,568.00	3 階	
食堂	S 造	1975	316.00	1 階	
体育館	RC 造	1976	1,260.00	1 階	
プール附属室 （トイレ、更衣室）	CB 造	1977	32.00	1 階	
プール附属室 （トイレ、更衣室、機械室）	CB 造	1977	52.00	1 階	
屋外便所	S 造	1986	31.00	1 階	
教室	RC 造	1987	538.00	2 階	
技術棟・武道場	RC 造	1991	1,369.00	3 階	
教室	RC 造	1992	878.00	2 階	
課外活動部室	S 造	1994	153.00	2 階	
特別教室	RC 造	1996	1,212.00	3 階	
ごみ置場	S 造	1998	10.00	1 階	
教室（更衣室・印刷室）	S 造	1994	75.00	1 階	
教室（相談室）	S 造	2003	21.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４５年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

23	施設名	藤岡南中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	西中山町	延床面積	9,333.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	2010	1,424.00	3 階	
教室	RC 造	2010	4,950.00	4 階	
武道場	RC 造	2010	902.00	2 階	
渡り廊下	S 造	2010	186.00	3 階	
体育館	RC 造	2010	1,432.00	2 階	
プール専用付属室	RC 造	2010	98.00	1 階	
弓道場（射場）	RC 造	2010	78.00	1 階	
弓道場（的場）	RC 造	2010	44.00	1 階	
課外活動部室	RC 造	2010	219.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１０年が経過している保全改修工事が行われた履歴はないが、築年数が比較的新しく健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

24	施設名	小原中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	永太郎町	延床面積	4,738.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
コンピューター室	RC 造	1992	128.00	1 階	
プール専用付属室	S 造	1983	54.00	1 階	
食堂	S 造	1986	277.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1986	533.00	2 階	
体育倉庫	RC 造	1987	29.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1986	991.00	2 階	
プール専用付属室	S 造	1983	16.00	1 階	
体育館	RC 造	1973	1,349.00	2 階	
教室	RC 造	1986	1,301.00	2 階	
エレベータ・多目的便所棟	S 造	2008	40.00	2 階	
屋外便所	W 造	2013	20.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４７年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

25	施設名	足助中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	足助町	延床面積	7,094.60 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
校舎	RC 造	1967	544.00	3 階	
管理・教室棟	RC 造	1965	2,581.00	3 階	
用務員室	RC 造	1966	23.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1971	1,611.00	4 階	
便所	RC 造	1971	48.00	1 階	
倉庫	RC 造	1975	71.00	1 階	
体育館・武道場	RC 造	1975	1,906.00	2 階	
プール滅菌室、ろ過器室	RC 造	1986	16.00	1 階	
プール倉庫	S 造	1986	8.00	1 階	
プール管理棟、更衣室	S 造	1986	52.00	1 階	
屋外便所	RC 造	2009	26.00	1 階	
弓道場（５人立）	W 造	1980	173.60	1 階	
的場	W 造	1980	35.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５５年が経過しているが、校舎については２０１７年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

26	施設名	下山中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大沼町	延床面積	6,021.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1971	3,150.00	3 階	
体育館	S 造	1972	1,700.00	1 階	
プール専用付属室	W 造	1972	153.00	1 階	
体育倉庫	W 造	1974	36.00	1 階	
射場	S 造	1986	70.00	1 階	
渡り廊下（技術室）	S 造	1971	32.00	1 階	
渡り廊下	S 造	1972	35.00	1 階	
管理棟	RC 造	1996	25.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1996	65.00	1 階	
特別教室棟	RC 造	1996	422.00	1 階	
渡り廊下	RC 造	1996	33.00	1 階	
校舎	S 造	2016	275.00	1 階	
屋外倉庫	S 造	2012	25.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４９年が経過しているが、校舎については２０１５年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

27	施設名	旭中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	杉本町	延床面積	5,857.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・教室棟	RC 造	1995	3,378.00	3 階	
体育館	RC 造	1995	1,467.00	1 階	
プール等	RC 造	1996	908.00	2 階	
倉庫・トイレ	W 造	1997	54.00	1 階	
倉庫	W 造	1998	50.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２５年が経過しているが、校舎については２０１４年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

28	施設名	稲武中学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑原町	延床面積	6,680.12 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理・普通教室・特別教室棟	RC 造	1969	2,047.00	3 階	
便所	RC 造	1978	82.00	2 階	
多目的ホール	RC 造	1984	559.00	1 階	
特別教室	RC 造	1984	1,071.00	1 階	
器具庫	S 造	1985	140.00	1 階	
職員更衣室兼倉庫	S 造	1985	120.00	1 階	
倉庫	W 造	1971	17.00	1 階	
倉庫	RC 造	1985	6.00	1 階	
体育館	RC 造	1976	1,783.00	2 階	
武道場	RC 造	1977	508.00	1 階	
弓道場	RC 造	1977	206.00	1 階	
的場	S 造	1977	47.12	1 階	
プール専用付属室	S 造	1972	94.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過しているが、校舎については２０１６年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

1	施設名	豊田特別支援学校

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	大清水町	延床面積	8,982.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
教室	RC 造	1993	8,945.00	3 階	
倉庫	CB 造	1993	37.00	1 階	
校舎（バス乗降場）	S 造	2006	0.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２７年が経過しているが、校舎については２０１８年度に保全改修工事が行われており、比較的健全な状態を保っているため、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検結果、耐用年数を踏まえた適正な改修・修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	耐久性の高い材料を使用することや、省エネ機器の導入等を検討することなどにより、経費の縮減を図ると同時に快適性、利便性の向上にも考慮する。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。